

— 木枯に 眞珠の如き まひるかな —

宮澤賢治の童話『セロ弾きのゴーシュ』を知っていますか？

楽団でいちばん演奏が下手で、楽長にいつも怒られている、チェロ奏者のゴーシュ。彼は、意外にも動物たちから自分の演奏の問題点を教えられ、音楽家としての成長を遂げます。

音楽や文学や芸術は、愛好家にしか理解できない、お高くとまったものと思われがちですが、本当は、みんなの中から生まれ、みんなによって鍛えられ、みんなのために存在するものなのだ —— 宮澤賢治は、そう言いたかったのかもかもしれません。

宮澤賢治の精神に倣って、がんばって生きている全ての人々に、ちょっと早めのクリスマス・プレゼントを用意しました。

ロダンの彫刻に囲まれた空間をステージとして、第一級のチェリストである長谷川陽子さんの演奏と、SPAC俳優の奥野晃士さんの朗読によるパフォーマンス『セロ弾きのゴーシュ』を上演いたします！

賢治の物語が、俳優によって語られ、チェロによって奏でられ、彫刻たちの佇む空間に響き渡り、しばし異世界に皆さんを導きます。みんなのためのパフォーマンスを、どうぞお楽しみください。

- ❁ 日 時 平成22年**12月16日（木）15:00～**
- ❁ 場 所 静岡県立美術館ロダン館
- ❁ 観 覧 料 一般300円 大学生以下と70歳以上の方は無料
- ❁ 定 員 100名（先着順）※当日13:00より本館1階インフォメーションにて整理券配布
- ❁ お問合せ 静岡県立美術館総務課 TEL：054-263-5755

<プログラム> 演出：大岡 淳（SPAC文芸部）

♪ 演奏：長谷川 陽子

演奏曲目：バッハ 無伴奏ヴァイオリン組曲No.1よりプレリュード
無伴奏チェロ組曲No.3よりプーリエ
ブラームス ブラームスの子守唄（無伴奏で）
ブリテン 無伴奏チェロ組曲第一番より第一の歌
リグティ 無伴奏チェロソナタよりカプリッチョ

※曲目、曲順は変更になる場合がございます。予めご了承ください。

♪ 朗読：奥野 晃士（SPAC俳優部）

テキスト：宮澤賢治 『セロ弾きのゴーシュ』



~~~~ 長谷川 陽子 プロフィール ~~~~~

井上頼豊氏に師事。第54回日本音楽コンクールで第2位受賞。1988年小林研一郎指揮、日本フィルハーモニー交響楽団との共演で協奏曲デビュー。同年、桐朋音楽大学に入学。翌年文化庁派遣在外研修員としてフィンランドのシベリウス・アカデミーに留学、アルト・ノラスに師事し、92年首席で卒業後帰国。国内の主要オーケストラとの共演をはじめ、プラハ交響楽団とは日本公演とプラハでの定期公演にて共演するなど、高い技量と豊かな音楽性を兼ね備えた日本を代表するチェリストの一人である。CDはビクターエンタテインメントより多数発売しており、最新アルバムは本年7月に「愛の小径～チェロ名曲集◎長谷川陽子」をリリース。ロストロポーヴィチ国際チェロ・コンクール特別賞受賞、霧島国際音楽祭賞等、2010年に第9回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。

ホームページ：<http://yoko-hasegawa.com/>